


とうきょう すくわく プログラム活動報告書

活動のテーマ	砂
テーマの設定理由	砂で遊ぶことの楽しさを知り、遊びを発展していく

施設番号	66-1487
施設名	子どもの森ゆうばーく保育園
施設所在地	町田市南町田4-33-1
法人名	貴静会

活動スケジュール
9月12日 砂山作り
9月30日 砂山作り
10月6日 砂遊び
10月28日 砂山作り
11月6日 みんなで砂遊び
11月10日 トンネル開通
12月22日 砂遊び
2月6日 砂の感触を味わう
2月10日 レンガのお家？
2月12日 砂遊び

活動の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで砂山を作るが、途中で飽きてしまった。 ・午後のおやつ後、園庭に出てみんなで砂山をつくる。トンネルも掘ったがくずれてしまった。 ・自由遊びの時、砂遊びの好きな子が集まり、色々なものを自分たちで考え砂遊びをする ・自由遊びの際、砂遊びの好きな子が集まり、砂山をつくり、トンネルを掘る ・砂場で協力しながら遊んでいた。 ・トンネル開通のリベンジをし、つながった。 ・砂場の玩具(容器を使って)遊ぶ ・園庭の砂・シルキーサンド・白砂の感触を味わった。 ・園庭の砂を四角い容器煮入れ固め積み上げた。 ・園庭遊びの際、みんなで砂を集めたり、ケーキを作った。

活動のための準備・環境設定
<ul style="list-style-type: none"> ・園庭の砂 ・砂場の玩具(容器、シャベル、など) ・シルキーサンド・白い砂を準備 ・たらい ・キッチン、椅子 ・新しい砂


活動中の子どもの姿(声)・子ども同士や保育者との関わり
9月12日…砂場で砂山を作る事を子どもたちにて提案をし、シャベルやスコップで砂山を作るが、途中で飽きてしまった。
9月30日…「もっと高くしよう」とシャベルやスコップで砂山を作る。「トントンする」とシャベルの裏側や手で固め始めた。「水をかけてみよう」「もっと固まるよ」という声に対して、バケツで水を汲みにいく子がいた。固まってくると、「トンネル掘ろう」と言う子がいた。シャベル、手、スコップを探し、トンネルを掘り始めた。急に、園庭の砂を砂山の頂上にかける子が、「見て～富士山だよ」と言い始めた。再びトンネルを掘り始め、トンネルがつながった。「つながった～」と喜んでいて。反対側から保育者が手を出すと笑っている子、喜んでいて子がいた。手を抜き再び手を入れようとしたところで山が崩れてしまった。「あー。くずれちゃった～」と残念がる子がいる横で「もう一回作ったらいいじゃん」と、再度作る事を提案する子もいた。今回は、ここで時間となり終了した。
10月6日…戸外遊びの中で数名、砂遊びを楽しんだ。自分たちで色々と考えました。
10月28日…戸外遊びで、「トンネル作ろう」と言う子どもと一緒に山を作りトンネルを掘りました。「山を作るのにこれ使える？」とスプーンをもってくる子、「もう、このくらいでいいなあ？」と、山をもて言っていた。「なでなでしてるから」とシャベルで山をならしている子、「ここ掘ったらトンネルできるかなあ？」と掘り始める子、いろいろな子がいました。
11月6日…「みんな、手伝って～」と友だちを呼んでいた。その声を聞いて集まってきました。さて、今日は何を作る？
11月10日…戸外遊びの最中、「ここにお山作ろう～」とみんなが集まってきて、山を作り始めました。「トンネル作ろう～」と、子ども達だけであきらめずトンネルを掘り続けました。

振り返り
<p>初めのうちは、一人ひとりが違った遊びをしていて他の友だちが何を作っているか、興味を示さなかったり、途中で飽きてしまい違う遊びへと移って行ってしまった。しかし、半年が過ぎようとする頃から、友だちを意識する・友だちに関心を持つ事ができるようになってから、人と関わる・一緒に作る大切さを知り楽しめるようになった。</p> <p>砂山を一つ作る場所でも、どのようにしたら固まるのかをそれぞれの子が考え、手だけでなくシャベルやスコップなどの裏を使って固める子、水をかけたらとアイデアを出してくれていた。富士山を見たことがある子が、急に白い砂をかけてみたり、その発想は、思いもよらない物だった。「富士山」と言っていたのに、何で白い砂をかけるんだろうと思い、「なんでかけるの」と声をかけそうになったが、その子なりの考えがあるのだからと、質問の仕方を変えるようにした。「富士山」と言われた時には、「なるほどね。富士さんね」と関心させられた。自分たちの力で砂山を作ることをリベンジトンネルが開通した時には、とても喜んでいたので、出来上がった物を見て「頑張ったね」、「トンネルもつながったね」と褒めていった。そこで、砂山作り・トンネル掘りは満足をしてしまっていた。砂山は作っていなかったが、みんなで協力することの達成感を味わうことができました。</p>